社協のマークです

福祉の心を育てよう

中央地区社協だより

ちゅうおう

第48号

発行者　大和市中央地区社会福祉協議会
編　集　広報部会
事務局　大和市中央6-5-19 コミセン下草柳会館内
電　話　264-5110

常任理事会 令和5年度理事会、総会に向け 6項目の重点事業をとりまとめ

年明け以降3回に渡る常任理事会（会長以下9人の役員で構成）での協議を通じ、令和5年度の活動基本方針は前年度を踏襲するものとし、引き続き重点事業6項目の積極的な推進を図るとされました。具体的な事業計画等の各議案は5月21日（日）開催の理事会で審議され、5月27日（土）開催の総会で承認を受けることになります。理事会、総会は共にコミュニティセンター下草柳会館で開催される予定となっています。

令和5年度活動基本方針 6項目の重点事業を積極的に推進

前年度新たに活動基本方針の一つとして掲げた「障がい児・者者福祉活動の推進」については残念ながら具体的な活動には至りませんでした。又、新型コロナウィルスの感染拡大により令和4年度においても多くの事業が中止又は制約を受けての実施を余儀なくされました。（2・3面参照）

このように、前年度においては活動基本方針に沿った活動を十分に行い得なかったことから、新年度の活動基本方針は前年度の内容を踏襲することとし、次の6項目の重点事業を各部会等で分担し積極的に推進することとされました。

常任理事（9人）の方々

上段左から髙橋香緒李（書記）、山形妙子（会計）、柳川悦子（書記）、叶森統（会長）、前畑勲（副会長）、前列左から鈴野吉男（会計）、力武美也子（副会長）、澁谷敏夫（個別支援部会長）山口周治（副会長）

令和5年度重点事業

一、高齢者福祉活動の推進

「敬老の集い」の開催、いきいきミニサロン、地域サロン等開設による高齢者の居場所づくり、ふれあい訪問事業、ボランティアセンター運営による個別支援活動の充実など

二、障がい児・者者福祉活動の推進

引き続き障がい児・者や福祉施設の現状把握に務めるとともに、日頃障がい児・者支援に関わっている方等の協力を得てワーキンググループを作り、具体的な活動内容について検討を進める

三、児童福祉・青少年健全育成活動の推進

泉の森キャンプ場でのカレー作り・ゲーム等親子交流ふれあい体験、夏休み期間中の児童社会見学、青少年健育成を目的とした講演会の開催、車椅子体験学習会等学校との連携事業の推進など

四、地域住民との幅広い交流の推進

「中央地区ふれあいまつり」等各種イベントへの参加協力、グラウンドゴルフ大会等レクリエーションの開催など

五、広報・調査・相談援助活動

地区社協だより「ちゅうおう」の発行、赤い羽根共同募金活動への協力、愛の小箱（募金箱）設置依頼など

六、組織体制強化・活動充実のための活動

理事、ボランティア等を対象とした研修会の実施・受講、中央地区支え合い協議会等関係諸団体との情報交換・連携強化

令和4年度を振り返って　部会ごとに活動状況を報告します

令和4年3月下旬にまん延防止等重点措置が解除されたものの、その後もオミクロン株の感染拡大が続き、8月下旬に第7波のピークが、また年明けにかけて第8波が到来するなど感染拡大防止の観点から多くの事業が中止または制約を受けての実施となりました。

総務部会

6月の親子交流ふれあい体験（泉の森キャンプ場でのカレー作り等）、8月のバスを利用した児童社会見学は共に中止となり、年明けに予定していた青少年健全育成講演会、役員研修会についても実施を見送ることとなりました。

▼赤い羽根共同募金活動

10月8日（土）に一般募金活動を、12月3日（土）には年末助け合い募金活動を両日とも常任理事が大和駅頭で午前中の二時間程度募金の呼びかけを音声で流すなど感染対策をしつつ行いました。

いただいた額は一般募金一万一千二百八十六円、年末助け合い募金一万四千七百八十二円でした。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

なお、共同募金の配分先は「はねっと」で検索し確認することができます。

▼車椅子体験授業に協力

11月29日（火）、草柳小学校4年生2クラス58人を対象とした車椅子体験授業に常任理事他8人が協力ボランティアとして参加しました。

授業の様子

▼愛の小箱（募金箱）

新しくコミュニティセンター下草柳会館と草柳会館に設置させていただきました。募金額は全額中央地区社協の直接の活動財源として活用させて頂きます。

広報部会

6月30日付けで総会議決結果等をお知らせする「広報ちゅうおう」第47号（A4一枚両面）を発行。9月末に予定していた第48号（A4二枚両面）は発行を延期し、今回発行することとしました。

事業部会

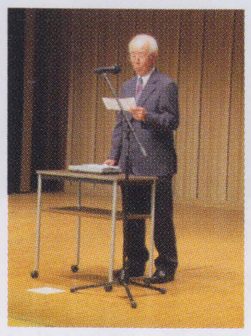
事業部会は「敬老の集い」の会場を感染防止の観点からシリウスに変更するなどの制約を受けながら、またグラウンドゴルフ大会はほぼ予定どおり実施することが出来ました。

▼敬老の集い

令和4年度「敬老の集い」は9月25日（日）午前10時からシリウスサブホールを会場に155人の参加者を得て開催されました。

出演者の皆様

どじょう掬い踊　大和安来節の会



詩吟　名取満雄氏

新舞踊若草流　新舞踊若草流　みその会

リズム体操（ばち持ち）　銭たいこ寿草会　リズム体操

歌唱指導　三枝たえ子氏

当日は心配された台風15号の影響もなく、からっとした秋晴れ。コロナ禍での開催を考慮し、午前中の開催で飲食なしの形となりましたが、参加者は出演者の熱演に拍手を送り、抽選会にわくわくし、最後は三枝先生の指導により「ふるさと」等を合唱するなど楽しいひとときを過ごしました。　終了後、出口で役員からお土産を手渡され無事終了となりました。

▼グラウンドゴルフ大会

令和4年度親善交流グラウンドゴルフ大会は11月16日（水）午前9時から引地台公園令和広場（多目的広場）で開催されました。当日は風は冷たいものの天候は雲一つない秋晴れ。当日の参加者数は52人。開会式、準備体操を経てホイッスルの合図で試合開始。試合は個人戦4ゲーム（ABコース各2ゲーム）、団体戦1ゲームで行われました。

個人戦優勝者は男性の部、船橋和助氏（中央七丁目）、女性の部、小山とし子氏（中央六丁目）でした。

個別支援部会

個別支援ボランティアに登録頂いている方々にお集まりいただいての情報交換会、ボランティア活動についての研修会等何れもコロナ禍等のため開催を見送りました。。支援依頼件数は令和4年12月末現在、昨年度と同程度の44件ですが、活動ボランティア数は昨年度比132%の89人の方に活動いただいています。ご協力いただいたボランティアの皆様、有難うございました。

令和4年度　個別支援活動実績一覧（令和4年１2月末現在）

支援内容	支援回数	依頼者性別			活動ボランティア人数		
		男性	女性	計	男性	女性	計
室内片付け、ごみ分別、清掃	**3**		3	3	1	5	**6**
資源ごみ分別、搬出				0			**0**
家具等粗大ごみ搬出				0			**0**
窓ガラス、網戸、エアコンフィルター等清掃	**6**		6	6		10	**10**
電球、蛍光灯等交換	**2**		2	2	2	1	**3**
家電等の移動・設置と操作説明	**7**		7	7	3	5	**8**
家具修理など(簡便なもの)	**1**		1	1		1	**1**
庭木の伐採、剪定(低木に限る。)	**4**		4	4	8	6	**14**
草取り、庭の片付け	**7**	1	6	7	12	18	**30**
網戸・障子の張り替え				0			**0**
買物代行	**6**	1	5	6		8	**8**
視覚が衰えている方への代読、代筆等	**2**	2		2	1	1	**2**
病院付き添い	**4**		4	4		4	**4**
布団干し	**1**	1		1		1	**1**
洗濯・乾燥(コインランドリー)	**1**		1	1		2	**2**
合計	**44**	5	39	44	27	62	**89**

地域交流部会

中央地区においても高齢化が進む中、地域の中に年齢を重ねた方々が集まり、談笑できる場が求められています。中央地区内では従前からの「いきいきミニサロン」に加え、主に自治会単位に「地域サロン」が開催されています。（左表参照）

各サロンとも参加者にどのように楽しい時間を過ごしていただくか、また、健康に過ごすための情報提供など運営に携わる方々が様々な工夫をして皆様の参加をお待ちしています。

中央地域内「高齢者サロン」一覧

ミニサロン※名	開催日、会場	開催時間
いきいきミニサロン下草柳	毎月第4火曜日・下草柳コミセン	午前10時から12時
いきいきミニサロン草柳	毎月第4火曜日・草柳コミセン	午前10時から12時

※ミニサロンは中央地区社協が運営。12月は第2火曜日、8月は休み

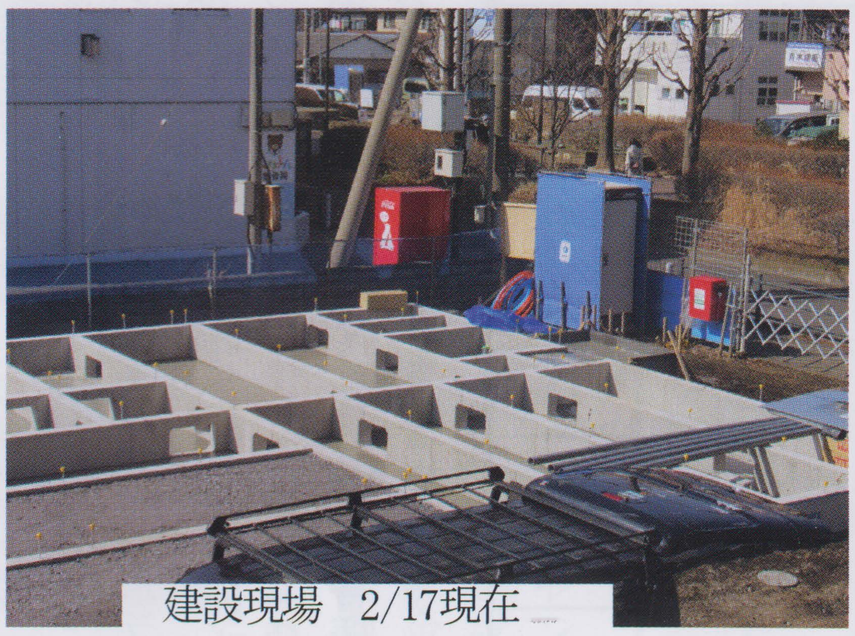
地域サロン名	開催日、会場	開催時間
中央2・3丁目居場所サロン	偶数月／第2火曜日・自治会館、 奇数月／第2火曜日・草柳コミセン	午前10時から12時
中央四丁目自治会サロン	毎月最終月曜日・自治会館	午前10時から12時
中央五丁目金曜サロン	毎月最終金曜日・やよい住宅集会所	午前10時から12時
中央６丁目サロン	毎月第1水曜日・自治会館	午前10時から12時
7丁目サロン茶ちゃ会	毎月第３火曜日・自治会館	午前10時から12時
草柳サロン	毎月第3木曜日・自治会館	午後1時30分から3時30分
ＳＹダイヤモンドサロン	毎月第4水曜日・スカイハイツ集会所	午後2時から4時
サロンわかば	毎月第2金曜日・自治会館	午前10時から11時30分

「お知らせ」と募集

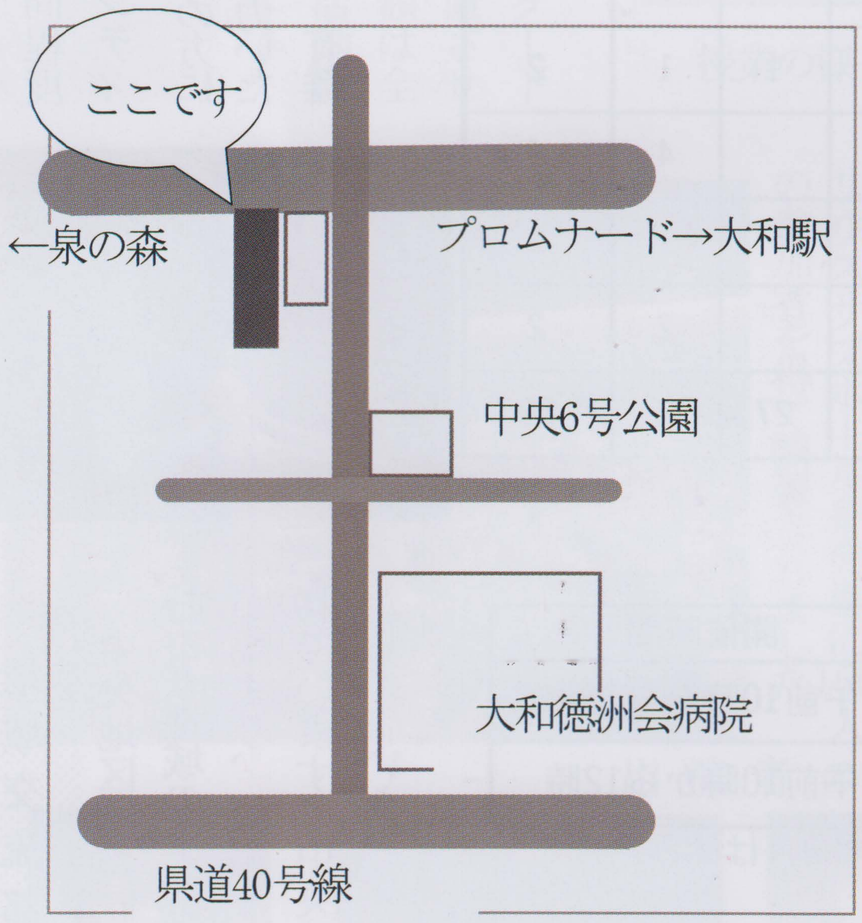
今夏 隣接地へ「 ボランティアセンター」移転

大和市中央地区支え合い協議会の活動拠点（支え合いセンター）が８月頃隣地に移転するのに伴い、同所で活動を続けてきた大和市中央地区社会福祉協議会が運営する「大和市中央地区ボランティアセンター」も移転することとなりました。

移転先は、現在地の隣に建設中の建物の一画（約56㎡）で プロムナード側から直接出入りすることができるようになります。



建設現場　2/17現在



中央地区は2月1日現在の高齢化率が26％とほぼ４人に1人以上が65歳以上の高齢社会となっています。今後とも高齢化が進展し、要介護ではないものの日常生活に不自由な思いをしている一人暮らし高齢者や認知症の人が増加してきます。こうした人に対して医療と介護の連携強化だけでは十分サポートすることができません。このため国はこうした方々が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、そのための仕組みづくりを住民主体で行うため介護保険法を改正しました。具体的には地域の住民や活動団体、企業等が連携して地域の支え合い・助けあいを推進していくため、地域ごとに関係者が集まり課題を整理し解決方法を協議する「協議体」を設けることとされました。大和市においては地区社協区域（11 地区）ごとに設けることとされ、現在６地区に設置されています。中央地区支え合い協議会は２０１８年３月に市内３番目の協議体として発足し、既存サービス充実への働きかけ、無いサービスは作り出す姿勢で10人の支え合い推進員を中心に話し合いが行われて来ました。これまでの具体的な取り組みとして、高齢者の孤食防止を主な目的とした高齢者会食会「はちぶんめ」の開催、介護施設の送迎車を利用した買物支援「買援隊」活動、従来の個別支援ボランティア活動の地区社協による組織化（ボランティアセンター設置働きかけ）、交流スペースを利用した「えんがわサロン」の開催などがあります。現在は様々な情報が届きにくい高齢者に対するアプローチの方法が話し合われています。中央地区社協との関係ですが、中央地区支え合い協議会はあくまでも協議体でありながら活動の実行団体とはされていない一方、地区社協は地域福祉活動の主要な活動団体の一つとなっています。。

「支え合い協議会」と「地区社協」

中央地区ボランティアセンター
毎週月・水・金 開所しています。
（午前10時から午後３時）

募集中

日常生活で、一人ではできず困っていることなど、ボランティアセンターにご相談ください。コーディネーター（女性３人）が事情を伺い、解決のためのお手伝いをしたします。

現在ボランティアとして54人の方に登録いただいています。「できる時に出来ることを」で結構です。地域での助け合いのため、是非ご連絡ください。

連絡先
０４６
（２５９）
５５３８